

いわての看護

特集

県勢功労者表彰受章 佐々木典子様 誌上祝賀



盛岡市中央公民館

読者アンケート



	保	助	看	准看	計
令和4年度 岩手県看護協会会員数の動向	312人	333人	6,908人	144人	7,697人
	令和4年度 災害支援ナース登録者 100人				

令和4年10月13日現在

佐々木 典子様 令和 4 年度岩手県県勢

令和 4 年度岩手県県勢功労者として、元岩手県看護協会会長である佐々木典子様を受章されました。この度の受章看護職一同、大変喜ばしく感じております。コロナ禍のため祝賀会は断念致しましたが、今号ではこの榮譽ある受章



受章記念写真



知事公館での表彰式



メディア取材



記念の盾（看護協会より）



看護協会職員と記念写真

佐々木典子氏 事績

- * 岩手県看護協会会長等として、組織の充実強化に努めるとともに、看護職員の資質の向上や勤務環境の整備に尽力したほか、協会の公益法人への円滑な移行に向けて取り組むなど、本県保健医療の充実に貢献した。
- * 岩手県立中央病院看護部長等として、看護体制の充実強化に尽力するとともに、的確な病床管理や人員配置に努めるなど、県立病院の運営改善を通じて地域医療の発展に貢献した。
- * 岩手県医療審議会委員として、本県保健医療施策の推進に貢献した。

■略歴

(昭和17年 2 月22日生)

- 昭和39年 3 月 岩手県立盛岡保健婦専門学院卒業
- 昭和39年 4 月 岩手県葛巻町保健婦
- 昭和41年 4 月 岩手県立盛岡高等看護学院看護技師
- 昭和45年 4 月 岩手県立衛生学院看護技師
- 昭和48年10月 岩手県立衛生学院看護婦
- 昭和49年 4 月 岩手県立中央病院看護婦
- 昭和51年 4 月 岩手県立中央病院主任看護婦
- 昭和58年 4 月 岩手県立中央病院病棟婦長
- 昭和62年 4 月 岩手県立中央病院看護婦長
- 昭和63年 4 月 岩手県立中央病院看護部次長
- 平成 2 年 7 月 日本看護協会岩手県支部看護婦職能理事
- 平成 3 年 4 月 岩手県立磐井病院総看護婦長
- 平成 4 年 7 月 日本看護協会岩手県支部一関地区支部長
- 平成 5 年 4 月 岩手県医療局計画推進室看護指導監
- 平成 6 年 4 月 岩手県立中央病院看護部長
- 平成16年 3 月 岩手県立大学大学院看護研究科看護学専攻修了
- 平成17年 4 月 公立大学法人岩手県立大学看護学部助教授
- 平成18年 7 月 社団法人岩手県看護協会会長
岩手県医療審議会委員
- 平成22年 7 月 社団法人日本看護協会東北地区理事

■主な受章歴

- 平成12年 5 月 社団法人日本看護協会会長表彰（協会活動功労）
- 平成15年 5 月 社団法人全国自治体病院協議会会長表彰
（看護業務改善功労）
- 平成16年10月 岩手県知事表彰（保健医療功労）
- 平成19年 5 月 厚生労働大臣表彰（優良看護職員）
- 令和 2 年11月 瑞宝単光章（看護業務功労）

功労者表彰受章 おめでとうございます

は、保健衛生の発展に長年貢献されたことに加え、看護職の功労に対する代表として受章していただいたと受け止め、に際し、心よりお祝いをお伝えすべく特集記事を企画致しました。

お祝いの言葉

お祝いのことば

公益社団法人岩手県看護協会 会長 相馬 一二三



この度、佐々木典子様のご功績が認められ、県勢功労者表彰受章の榮譽に輝きましたこと、心よりお祝いを申し上げます。

これまで看護職の道を歩み続けて来られたその姿は、後に続く私達にとって常に目指すところになっております。看護職の一人として、また、岩手県看護協会会長を担う身といたしましては、尊敬の念を抱くと同時に、真摯にことに向き合うことの大切さをご示唆いただいたと受け止めております。

本来であれば、祝賀会を開催し多くの方々と共に祝福したいと考えておりましたが、ご本人のご要望と新型コロナウイルス感染症の感染防止を配慮し、祝賀会は断念いたしました。

今回、「いわての看護」で特集を設け、書面でのお祝いとし親交の深い方々からメッセージをいただいております。当看護協会からは、「高位」などをモチーフとする「飾り扇 春秋に鯉」を記念品として贈呈いたしました。

最後になりましたが、佐々木様の今後ますますのご活躍を祈念するとともに、健康には十分にご留意いただき、私どもに末永くご指導いただくことをお願い申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

県勢功労者表彰受章を祝して

公益社団法人岩手県看護協会 元会長 兼田 昭子



岩手県看護協会元会長佐々木典子様のご功績が認められ、県勢功労者表彰の受章、誠にめでとうございます。看護職にとって大変名誉なことであり心からお祝い申し上げます。

私は佐々木様が協会長の時、専務理事の任にありました。佐々木様が、協会並びに看護の発展に寄与した一旦を紹介し感謝の意を表したいと思っております。組織の充実強化として協会の訪問看護ステーションの経営を一体化するとともに公益社団法人の取得に計画的に取り組んだこと、「第10回日本看護サミットいわて」の終了後に開催した「看護職員養成確保促進検討会」の報告書が、後に岩手医科大学附属病院高度看護研修センターで開講した認定看護師教育課程「緩和ケア」につながったことなどです。

終わりに、佐々木様の益々のご健勝と看護協会の更なる発展をご祈念申し上げます。

恩師の受章を祝して

盛岡つなぎ温泉病院 看護部長 菅原 秀子



県勢功労者表彰受章おめでとうございます。出会いは看護学校に入学したところから始まります。一学年の定員が倍増した時期で、学生運動も盛んな時代でした。先生方はさぞかし大変だったろうと推察しますが、色々な出来事に一つひとつ真摯にそして何より心豊かに対応してくださいました。今思いを巡らしても殺伐とした印象はなく、ゆったりとした環境で看護師としての姿勢の原点を育てていただきました。その後、看護管理者になられてからは常に一歩先を見据えた発言と行動、揺るぎない

精神と寛容さで、看護師の職場環境と資質の向上に尽力されておりました。学生時代から今まで、学びをいただき刺激を受けてきた私の看護師人生があります。

お祝いの言葉

岩手県立中央病院 看護部長 稲見 敬子



このたびは、保健医療の充実に貢献されたご功績に対し、令和4年度岩手県県勢功労者表彰の受章となり、誠にめでとうございます。岩手の看護職にとってはもちろんのこと、県立中央病院看護部長の大先輩の受章をたいへん誇らしく思っております。

先日、「いつ何時でも頑張っている看護職へのエールだと思って、代表としてお受けしたのよ」と謙虚にお話しして下さいました。しかしながら、佐々木元看護協会会長には看護職の現任教育構築や働く環境の整備等にご尽力いただいたからこそ、震災を乗り越え、いま新たな感染症にも対応できる看護の力が岩手にあるのだと実感しています。いつも凛とした姿と優しい笑顔に元気をいただいています。看護を繋いでいかなければならない私たちも、大先輩を見習い、頑張っていきたいと思っております。これからも益々お元気で活躍されることをお祈りしております。

常任・特別 委員会

活動のPoint

社会経済福祉委員会

伊藤 京子



2024年4月から医師の時間外労働の上限規制が適用されることを受け、医療現場ではタスク・シフト/シェアをめぐる動きが加速しています。社会経済福祉委員会では、医療関係職種の専門性を活かした安心・安全な療養環境を提供する役割分担を推進するための情報共有に努めていきます。また、看護職の多様化する働き方に応じた、健康で安心して就業継続ができる職場環境づくりを支援し、看護職の確保と定着に貢献したいと考えています。

学会委員会

舘林 淑子



学会委員会は、岩手県看護研究学会の企画・運営を担当しています。今年度の学会メインテーマは「看護の力を発揮し人々を健康に」となっています。新型コロナウイルス感染症への対応で多忙を極める中、看護の力を発揮するために、各施設で力を注いだ研究活動の成果を岩手県の看護職間で共有し、今後の看護実践に活かせるような学会開催を目指して、委員一同努力していきます。

教育委員会

遠藤 良仁



8名の委員が月1回程度集まり教育部とともに活動しています。年間を通じて各研修の事後アンケートから研修目的の達成度、改善案などを検討し、次年度の教育計画について意見をまとめていきます。日進月歩に変化する医療・看護に対応するため、必ず知っておきたい知識や注目されているトピックスなどについて情報収集し提案を行います。また、研修が必要な方の目に留まりやすくするための工夫なども検討しています。

広報出版委員会

日野杉 喜美子



広報出版委員会は、協会主催行事等の取材や記事の作成を行い、機関紙「いわての看護」を年4回発行しています。会員の皆様に役立つ情報を提供できるようメンバー8名で協力しながら広報活動を行っています。会員の皆様にも原稿依頼等お願いすることがあると思いますが、その際はご協力お願いいたします。

準備委員会

山火 美由紀



準備委員会は11名のメンバーで構成されており、通常総会や学会などの会場準備、設営、後始末が主な活動です。コロナ禍での開催は、感染防止対策を考慮した準備や後片付けもあるため、メンバーで協力しながら任務を遂行しています。

会員の皆様が安心・安全に参加できるように、円滑な運営を心がけていきたいと思っています。

会員委員会

齋藤 るり子



会員委員会は、会員加入促進に向け、新入職員・看護学生・研修会参加者等へ入会案内のリーフレットを配布し啓発を行います。また、リーフレットが活用されるようホームページへの掲載を進めていきます。会員未加入数の傾向から課題を把握し、加入促進に向けた働きかけを検討していきます。

推薦委員会

田口 真奈美



推薦委員会は保健師3名、助産師2名、看護師5名で構成されています。専門職団体の目的を達成するための会員の代表となる候補者を推薦できるよう、岩手県看護協会の定款・規約に関する学習会を開催し、改選役員・委員への交渉、推薦等を行っていきます。次年度の改選に向けて、各施設に選出依頼や交渉を行う際には、ご協力をよろしく申し上げます。

認定看護管理者教育運営委員会

富山 香



当委員会では、認定看護管理者教育課程ファースト・セカンド・サードレベル研修の企画・運営・評価を行っています。活動の中での重要ポイントは、研修受講者選考時の受講動機や学習課題の論旨・論点の評価です。研修で成長した受講者が自信を持って看護管理を実践し、看護の質向上につながることへの期待を込めて討議しています。また、より効果的な研修にするため、細やかに研修評価を行い、その結果を活用し運営方法等の改善に務めています。

防災・災害看護委員会

富山 亜紀子



今年度は、災害時看護支援体制の整備と充実、災害支援ナースの登録推進と質の向上に取り組んでいます。特に力を入れていることは、災害支援ナースの登録推進です。2011年の東日本大震災の影響により災害への関心が高まり、2013年の災害支援ナース登録者数は171人とピークを迎えました。しかし、現在は99人と半数近くに減少している状況です。災害研修を通して災害支援ナースの必要性と、各施設長や看護管理者の理解と協力を呼び掛けていきます。

医療・看護安全対策委員会

高橋 光



県下のリスクマネージャ達が、研修の学びを通し意見交換を行うことで今後の活動に生かせるような交流会の開催と、職能委員会Ⅱとの連携により医療安全に関する情報の提供・収集を計画しています。日常業務で実践可能な医療安全情報を提供できるよう、活動へのご意見・ご協力をお願い致します。

看護研究倫理審査委員会

笠寺 容子



皆様がおこなう研究や調査について、科学的合理性と倫理的妥当性を審査する委員会です。さらには、研究や調査の倫理的視点に関する困り事や疑問点についても、相談を受け対応しております。医療機関だけでなく、看護協会委員会や各支部でおこなう研究や調査についても相談ができますので、遠慮なく活用してください。お問い合わせは、看護協会教育部に連絡をお願いいたします。

令和4年度 進学セミナー

令和4年度の「看護職を目指す中学生・高校生の進学セミナー」は、7月26日は宮古会場、8月1日は盛岡会場で実施し、参加者は2会場合わせて199名でした。8月5日に予定していた北上会場は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止となりました。

相馬会長は開会の挨拶の中で、なぜ看護の道を目指したのか、仕事を通して得たものなど自身の感動的な体験を話してくださいました。参加した生徒たちの真剣に聞き入る様子から看護職をめざす意義が伝わったと感じました。

岩手県看護職員就学資金貸付制度について岩手県保健福祉部医療政策室から説明していただき、看護の職種や仕事、資格取得についてナースセンターから説明しました。さらに、看護学生と看護職それぞ

れの立場から「看護職をめざすあなたへ」と題しメッセージをいただき、参加した生徒たちは真剣にメモを取りながら、時には笑いもあり興味深く聞いていました。後半はメッセージをいただいた方と看護職員等学校養成所の個別相談ブースへ多くの生徒が足を運び情報を得ていました。

アンケート結果では95%の生徒が参加目的を達成したと回答しており、「看護の仕事や進路について詳しく聞くことができ、看護職をめざす自信が持てた」「インターネットではわからなかったことが知れた、自分の耳で直接聞く事ができてよかった」などの感想がありました。参加した生徒たちが看護の道を行んでくれるように祈念しています。

(ナースセンター事業部長 種市 幸子)



COVID-19 に対応する
看護職の
相談窓口について

COVID-19 に対応する看護職の相談窓口を開設しています。
COVID-19 に直接対応しない方でもお気軽にご相談ください。
相談日時・方法等は岩手県看護協会ホームページをご覧ください。

岩手医科大学附属病院 高度看護研修センターの紹介

高度看護研修センター 副センター長 佐藤 悦子

医療・介護提供体制の改革が進められている今、医療ニーズをもつ多くの人々を支えるために多職種の協働が欠かせない時代となりました。そして、私たち看護職には、たゆみなく自己研鑽・成長しつづけ、チーム医療の要として保健・医療・福祉に貢献する大切な役割があります。

当センターは平成23年に開設し、今年で11年目を迎えました。時代に即した養成コースを追加し、緩和ケア認定看護師を目指す者と特定行為のできる看護師を目指す者が共通する科目を共に学び合うカリキュラムは全国でもめずらしく、当センターの特徴の1つです。

また、コロナ禍で集合研修が困難な中、オンラインを活用した学びの機会を提供しています。

緩和ケア認定看護師教育課程（B課程）

平成24年6月に緩和ケア認定看護師教育課程を開講（東北初）。これまでに146名が修了しています。

令和3年から認定看護師移行支援として特定行為研修を組み込んだ「認定看護師教育（B課程）」を開講。緩和ケアは終末期に限らず、治療と並行して行うことが求められており、修了生は様々な領域で活躍しています。

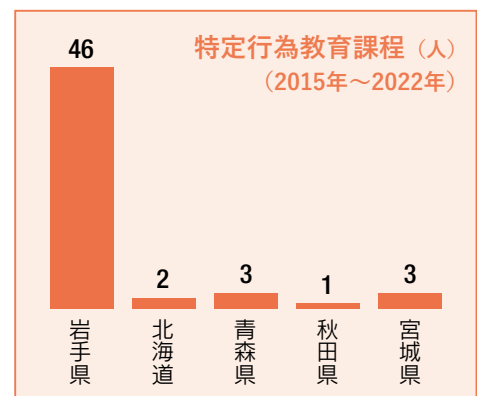
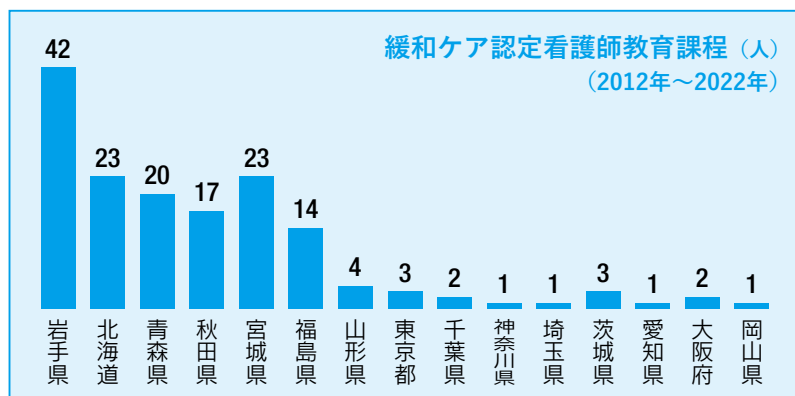
特定行為教育課程14区分22行為 （外科・在宅・選択）

平成27年10月に特定行為研修機関として創傷管理関連を開講（医科大学病院では日本初）し、これまでに49名が修了しています。また、医療施設のみならず訪問看護関連などからの受講も増えています。

平成31年4月より呼吸器関連、令和2年在宅関連、令和3年から特定行為研修（14区分22行為）では、「外科術後病棟管理領域パッケージ」、「在宅・慢性期領域パッケージ」、「特定区分のみの受講希望者を対象とした選択コース」を開講しています。修了生は、高度かつ専門的な知識・技術をもって、質の高い看護実践を提供しています。

タスク・シフト/シェアの観点から、とくに、特定行為修了者の活躍が注目されていますが、特定行為の実施が重要なのではなく、医師と協働し、身につけた病態判断力・臨床推論力をケアに活かし、患者さんの安心感やQOLに寄与していくことこそが重要といえます。

都道府県別受講者数



専門性を追求・
スペシャリストの教員達



充実した研修環境・一貫した講義と実習



令和4年度 保健師研修会

今年度の保健師研修会は8月20日(土)に、東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 地域看護学分野 准教授 吉岡京子氏を講師にお迎えし、「地域における保健師活動の推進に向けて～統括的役割を担う保健師とともに学びあい、ともに育ちあう職場づくりを目指して～」をテーマに保健師職能委員会が企画し開催しました。

岩手県内においても新型コロナウイルス感染症の感染拡大がみられる中、オンライン開催とし、参加者は23名でした。それぞれの現場が大変な状況にもかかわらず、多くの方にご参加いただき感謝申し上げます。

吉岡京子先生のご講演では、今の保健活動は“解のない応用問題を解き続ける時代”へと変化し、さらに未知なる社会への脅威に立ち向かう必要があり、全ての保健師が日々の保健活動を通じて、統括的な思考を育みながら成長していくことが大切とお話いただきました。

講演後の意見交換では、健康危機における統括保健師の役割について助言をいただくとともに、今ある危機に日々奮闘している現場の保健師に「全国的にも死者数が現在の人数に留まっているのは、現場で保健師が頑張っているから。自分たちのことを自分たちで褒めよう。」と励ましのお言葉もいただきました。

参加者からは「統括保健師の役割を再確認できた」「統括保健師のスキルは、日々のケース対応等で培われると分かり、積み重ねが重要だと分かった」等の声をいただきました。

保健師職能委員会としても、岩手県全体の系統的な人材育成について情報交換や情報共有しながら、現場の支援につながる活動を今後も進めていきます。

(保健師職能委員 立花 泰子)



令和4年度 CLoCMiP レベルⅢ 認証推進研修会

「分娩期のフィジカルアセスメント」

日時：令和4年7月30日(土) 13:00～16:00

分娩期の助産実践に関心のある県内の助産師をはじめとする看護職を対象とした令和4年度 CLoCMiP レベルⅢ 認証推進研修会は、「分娩期のフィジカルアセスメント～分娩が進まない時の対処法～」をテーマに、山本助産院院長 山本詩子氏を講師にお迎えし、演習を含む講演を行いました。会場とZoomでのハイブリッド開催に、会場29名、Zoom16名の計45名の参加があり、テーマへの関心の高さがうかがえました。

解剖学に基づいたフィジカルアセスメントや分娩時の声掛け、回旋異常・微弱陣痛の対処法など、具体的な演習を交えながらの講義では、自分たちの日々の助産ケアを振り返りながら熱心にメモを取る姿も見られました。その後のグループワークでは実際に山本先生から手技を教わりながら、各自分娩期の対処法の演習を行いました。会場だけでなくZoom参加者からも積極的な質問もあり、参加者全員が一体となって和気あいあいとした楽しい時間となりました。

研修会後のアンケート結果からは、分かりやすく、すぐに実践につなげることができる内容だったとの意見が多く、満足度の高い研修会であったことがうかがえました。また、オンライン研修が多い中、共通目的を持つ看護職同士が顔を合わせ意見交換すること、講師の山本詩子先生の熱いエールを受け取ることで、参加者のモチベーションアップにもつながっていました。

山本先生の経験とエビデンスに基づいた講演内容は新たな発見も数多く、私達の分娩時のケアを改めて振り返ることができました。参加者からは「職場のスタッフにもぜひ伝えたい」との声も上がっており、研修会で得た知識や手技を各職場で活かすことで、岩手県全体の助産ケアへの向上につながっていく貴重な機会となりました。



(助産師職能委員：大谷 良子)

令和4年度 岩手県保健福祉部との懇談会を開催して

令和4年9月27日(火)に岩手県保健福祉部と当協会との懇談会をオンラインにて開催しました。県から野原保健福祉部長をはじめ14名、当協会は相馬会長以下11名が出席し、下記の3つのテーマで懇談を行いました。

(1)健康危機管理と新たな保健活動上の課題への対応について

内容：保健師の人材確保・育成の推進／統括保健師の配置促進と情報共有、連携体制の推進

(2)地域包括ケアにおける母子支援について

内容：令和6年からの第8次医療計画の検討時期／アドバンス助産師／プレコンセプションケア

(3)看護職人材の確保に係るナースセンター事業の強化について

内容：看護職人材の確保の推進／看護職の労働環境などの改善による働き続けられる環境づくり推進／訪問看護への支援

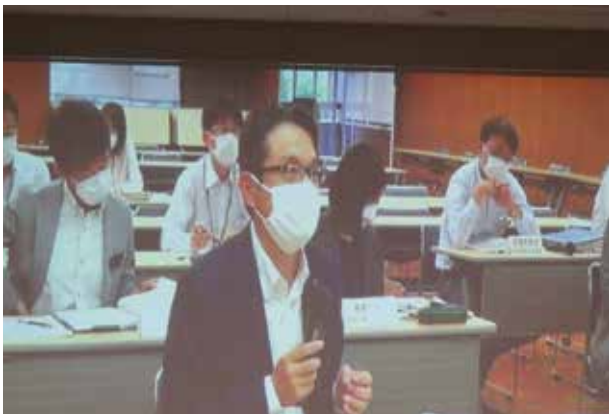
各テーマについて、当協会から現状や課題、要望等について説明を行い、保健福祉部から県としての取り組み状況や今後の方針等が述べられたのち、活発な意見交換が行われました。

懇談会の最後に、双方から感想及び総括をお願いしました。

野原保健福祉部長より、テーマ全てが検討や取り組みが必要な内容であり、多くの情報をいただいた。保健師はじめ看護職の皆さんのCOVID-19対応に感謝するとともに、保健福祉部として、今後の保健師の人材確保や育成について支援をしていきたい。地域包括ケアにおける母子支援では、プレコンセプションケアとして若い世代への教育支援を行っているが、企業など支援が行き届きにくい若い世代に対しても具体的な取り組みが必要であることを認識した。加えて、アドバンス助産師の現状についても理解を深めることができた。ナースセンター事業でのWLBの取り組みは、施設の働き方改革とともに、現在行われている医師の働き方改革の先行的取り組みとして学ぶところが大きい。また、訪問看護については、今後の第8次医療計画を検討する際の重要な事案であるとの前向きな感想をいただきました。

相馬会長からは、COVID-19に対応している医療機関をはじめ、県職員の対応に感謝するとともに、今回の懇談会のテーマについて、県と連携を図りながら、協会としても更に取り組みを推進していくことをお伝えし、閉会となりました。

(常務理事 千葉 香)



岩手医科大学附属病院感染症対策センターの紹介

岩手医科大学附属病院 感染症対策センター (Infection Disease Countermeasure Center:IDCC) は、新型コロナウイルス感染症重症患者の集中治療を目的として、今年4月に開設されました。

6床の病床は、すべて陰圧個室となっており、人工呼吸器やECOM (人工心肺装置)、CT装置を常設し、センター内で検査・治療を完結できる施設設備を備えています。汚染ゾーンと清潔ゾーンのゾーニングが一目でわかるように、床色を色分けしています。PPEについては、患者との接触の程度により、イエローゾーン (準汚染ゾーン用) とレッドゾーン (汚染ゾーン用) に分けており、着脱エリアを設け、2人によるチェック方式で安全な着脱を徹底しています。

また、人材育成として、重症で集中治療を要する患者の入室に対応するため、配置される看護師を対象

岩手医科大学附属病院 副看護部長 高橋 弘江
とした研修会を開催しています。岩手県の医療体制、
covid-19の特徴や薬剤療法、重症病態の特徴と治療、
人工呼吸管理やECOMなどの医療機器管理と看護など、
幅広い内容について、救急災害医学講座や感染制御部、
臨床工学部の協力により研修を実施しています。人工呼吸器やECOMなどの看護が未経験のスタッフにもわかりやすいよう、eラーニングを併用し繰り返して学べる研修形式です。集合研修は、シミュレーションセンターにてPPEの着脱訓練、ECOM治療中の患者に対する腹臥位など、本番さながらの実技研修となっています。

いまだ終息が見えない状況ですが、IDCCスタッフはシールド越しのアイコンタクト、互いに声をかけあい、連携しながら岩手県の命の砦として役割を果たしていきたいと思っています。



感染症対策センター外観



汚染ゾーンの床色はピンク



レッドゾーンのPPEは介助で脱ぎます

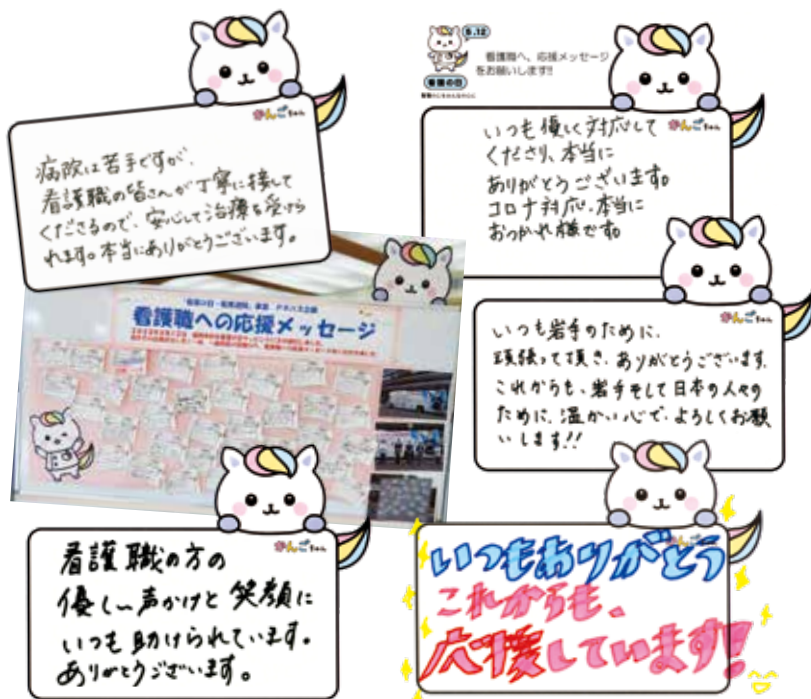


実技演習の様子

コロナ禍で日々奮闘している看護職への応援メッセージを紹介!!

「看護の日」PRバス出発式で寄せられたメッセージ

5月12日、看護職の仕事や魅力をアピールするPRバス出発式で、多くの方から応援メッセージをいただきました。その一部をご紹介します。



卓球男子3名より

「看護師さんに感謝を届ける」Tシャツプロジェクト

「サンクスナース」プロジェクトと(株)VICTASの協働で、卓球男子3名(水谷隼さん、丹羽孝希さん、張本智和さん)から感謝のメッセージと3人のサイン入りTシャツが届いています。

実際は看護研修センター3階ホールに展示し、研修会参加の折りに見いただいています。

◆卓球男子3人より共同メッセージ◆

コロナ禍を支え続けている看護師さん、医療従事者の皆様に感謝しています。ありがとうございます。



(広報出版委員会 日野杉 喜美子)

施設紹介

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部岩手県済生会 特別養護老人ホーム百楽苑

主任看護師 立花 きみ代

当苑は、龍泉洞を山懐に抱え込んだ宇麗羅(うれいら)山の麓に位置し、済生会岩泉病院に隣接しています。昭和61年に開所し、37年目を迎えました。

当苑のある岩泉町は、ここ10年余りの間に東日本大震災、平成28年台風10号豪雨により、未曾有の被害を受けました。令和4年6月末の岩泉町の人口は8,419人、高齢化率45%以上となり、人口減少とともに高齢化率は急速に上昇しています。さらに、追い打ちをかけるように新型コロナウイルスの流行等があり、社会情勢の厳しい中では有りますが、苑の方針である「明るい心を持つこと、目的意識を持つこと、学習すること、行動実践すること、和を尊ぶこと」を、職員総勢84名が心得、長期入所者110名、短期入所者10名の利用者様に対する支援を行っています。

ここで看護課の紹介をいたします。看護師6名とパート准看護師2名体制です。やりがいと責任を持ちながら、利用者様が心身共に安定した日々を送れるよう健康管理を中心として、喀痰吸引、経管栄養等の医療行為、服薬管理、通院、回診介助、入退院のサポート、個別機能訓練、感染予防対策、看取り対応、介護職員に対する医療的ケア(吸引、経管栄養)指導、利用者様のアセスメント作成とカンファレンス参加、科学的介護情報システム入力等の業務に奔走しています。

5月には当苑で新型コロナウイルスのクラスターが発生し、宮古保健所をはじめとした行政機関、県立宮古病院、済生会岩泉病院、町福祉関係機関の皆様には並々ならぬご支援をいただきました。また、利用者様が一日も早く日常生活を取り戻し、穏やかな日々を過ごせるよう、職員一丸となり取り組んだ結果、1か月という期間で収束を迎えることができました。これからも地域の皆様に支えられている事に感謝し、地域に根ざした介護施設であるよう努力していきたいと思ひます。



医療法人日新堂

介護老人保健施設 ケアホームやすみ

療養課長 右京 与志子

介護老人保健施設「ケアホームやすみ」は、日新堂グループが運営する介護施設第1号として、平成4年4月13日に開所し30年目になります。開所当時は入所56名、通所10名の定員でスタートしました。平成7年に西棟を増築し、現在は入所100名、通所40名の定員となっています。

法人理念「質に高い医療・保健・福祉の提供を通して社会の発展に貢献する」と掲げ、医療・介護・地域在宅支援に取り組み、地域包括ケアシステムを構築し、サービスの提供に努めています。隣接する八角病院の併設施設であり、介護と医療の連携も円滑に行われています。看護師9名、准看護師6名、介護福祉士35名、介護員2名、介護助手2名、言語聴覚士1名、理学療法士3名、作業療法士4名、管理栄養士2名、支援相談員3名、介護支援専門員1名で利用者様の自立支援、家庭復帰を目指し支援しています。施設内には、玉山地域包括支援センター、好摩指定居宅介護支援事業所、八角病院訪問看護ステーションがあり、それぞれの職種が、情報を共有しサービス提供の充実に取り組んでいます。

7月には各棟において、夏祭りを開催しました。開所当初は、夕方から地域の皆様にも参加していただき盛大に行っていましたが、現在はコロナ禍でもあり、小規模な開催となりました。ゲームやかき氷、たこ焼き、ケーキ等を提供し利用者楽しんでいただきました。次は、敬老会開催に向け企画・検討中です。

新型コロナウイルス感染状況から、現在はご家族の面会を制限させていただいていますが、リモート面会等を取り入れながら、ご家族との大切な時間を作りたいと考えています。



INFORMATION

ナースセンターから

★岩手県看護職員復職研修は9月の予定から11月10日～に変更になりました。

Aコース（8日間）は10月7日に応募を締め切りましたが、Bコース（実務研修2日間）は12月1日から令和5年1月31日まで随時ご相談ください。

★採血・喀痰吸引の技術研修

11月2日(水)、16日(水) 14時～
事前予約が必要です。岩手県ナースセンターへご連絡ください。
*看護技術等のDVD研修は随時行っておりますのでご利用ください。

★セカンドキャリアセミナー

11月9日(水)水沢、11月29日(火)盛岡で開催します。セミナーに参加し自分らしい選択や可能性を一緒に探してみませんか？

看護師等免許保持者の届出制度

「とどけるん」への届けを忘れていませんか？

* 離職時には、届出をお願いします

登録はこちらから→

看護師等の届出サイト

とどけるん



* 「病院等管理職の皆様へ」

離職する看護職員へ届け出票の配布をお願いします

岩手県看護協会の
ホームページをご存知ですか？



ホットな情報を掲載しております。どうぞ開けてみて下さい。

<http://www.iwate-kango.or.jp>

編集後記

肌寒くなり秋の気配が感じられるようになりましたね。皆さん日々の看護お疲れ様です。未だ新型コロナウイルス感染症の終息は見えないですが、体調管理、感染予防を行い、元気に頑張っていきたいと思います。



教育部から“コレ知っとこ”

★キャリアースを活用した文献検索についてお知らせします

会員の皆様は、日本看護協会図書館編集の「最新看護検索WEB」が無料でご利用いただけることをご存じですか？

キャリアースはここがポイント！

- 初心者でも簡単に検索でき、日本看護学会論文集の全文(42回以降)が閲覧可能！
- 各種データベースへリンクしている！
- 検索結果から日本看護協会図書館へ複写依頼が可能！

～郵送文献複写料金～

会員の方は、最新看護検索WEB・FAX・郵送から複写申し込みができます。

- * 料金は前払い制です
- * 1件 528円 + 送料(370円)
- * レターパックライトで送付

是非ご利用ください♡



会員管理担当者から

★日本看護協会から「2023年度継続手続きのお知らせ」が11月上旬以降順次発送されます。

大切なお知らせですので、必ずご確認ください。

- お手元に届かなかった場合は当会までご連絡ください。
- 職場が変わる方、退職する方も引き続き会員継続をお願いします。

★令和5年度年会費 口座振替日は、令和5年1月27日です。

口座情報に変更がある方は、できるだけ12月末日までにキャリアースから変更していただきますようお願いいたします。(書面手続き不要)

★会員継続を希望されない方へ

関係書類をお送りいたしますので令和4年12月27日までにご連絡ください。

お問合せは 岩手県看護協会

Tel 019-662-8213 まで